

おんじゆく 広報

No. 38

昭和40年
2月28日発行



＝主な内容＝

町政、ことしの動き	2
年頭のごあいさつ（町長、議会議長）	3
“はたち”を迎えて	4～6
カメラ・ニュース＜成人式＞	8～9
1965年、私の抱負と夢	10～12
盛大に出初め式	13
62名が異状者（住民健康診断から）	14
石井さんら入賞（農産物共進会）	15
御宿伊壇・詩	16

瞳が光つてる
ネクタイしめて
背広着て
訪問着のあなたも
最高で
あゝはたちの青春が
ふくらんでるよ
今日 成人の式

町政、ことしの動き

事業も積極的に

ビジョンづくりに全力

て行きます。

進捗中のこの計画と合せ、本年は次のような施策を推進します。

町政懇談会を開設

事務の複雑、高度化にともない、その量は逐年増加の一途をたどっているが、研修等の機会を積極的に与え、共に事務量の均等化、配置転換を考慮し、人員増を抑制し事務の合理化を推進する。また、町の皆さんから、直接、希望や意見、苦情等を聞いて行政運営に資したいので町政懇談会を開設したい。

農協合併で組織強化

所を増設する外、駐車場の整備を行い観光協会と一体となり振興上の施策を講ずる。国の施策である農漁業構造改善事業についても農漁民自体の意欲が基本とならなければならぬが、農業について考えるところと基幹作物の米作を否定することはできないが、畜産、果実等の企業的農業は今後急速な進展あるいは機械化の普及、協業化の伸長が考えられ、資本の集約と共に資金需要はますます増大されるであろう。そこでこれら一連の事業推

消防組織の合理化

社会生活の急速な進展にともない農漁家を問わず一般家庭に於ても就労人口が漸増の傾向にあつて現状団員の確保が困難になつてゐる。一方機械力の増強により省力化は可能と思われる。しかし現組織では今後、機械化及び維持について住民負担が余りにも過重であるばかりか団員の負担も大きいので、この合理化を研究推進し住民負担の軽減と団員の奉仕の負担の減少を期したい、そして消化槽の強化をさらに図りたい。

昭和四十年は新しい御宿町が誕生してから満十年、終戦後二十年目にもあたり、日本にとつても、わが御宿町においても、大きな躍進が期待されます。町は本年こそ発展の基礎を固めるため、昨年来着手した長期計画の仕上げを行ない、将来の姿をはつきりと描いて、町政の軸とし、この計画にもとづいた短期計画（五カ年位を単位として）を策定し、逐次実施に移し

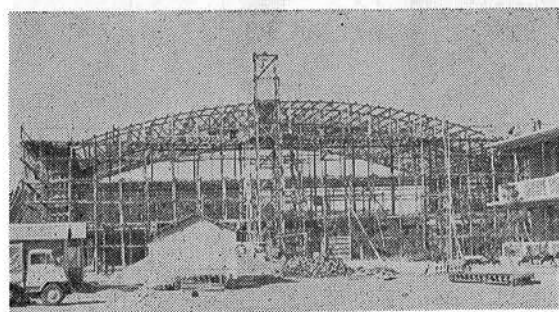
外房随一と称される海岸線の眺望、環境等を極力維持するよう努めるが、時代に沿つた施設が皆無であつては急速な観光の進展は望めないばかりか後退の危険さえ感ずる。そこで町の財力のみではこの充実は至難であり、かといつて外資を無計画のまま受入れることは慎重を期さなければならぬ。確実な計画を有し町観光振興に役立つと思われるものに対しては勇断をもつて利便を与えるよう考えるべきと思う。海岸に休憩所、便

進上、農協の合併による組織の整備、拡充、強化を図り総合的営農指導を積極化し、農業所得向上の一助としたい。本年はこの合併推進に力を注ぎたいので各農家の協力を切望します。なお実谷地先林道工事、高山田地先基盤整備、岩和田漁港整備、海岸保全事業、六軒町地先砂防林の保全事業等を施行する予定。

総合計画で整備

教育環境衛生

中学校は継続的に整備してきたが体育館も三月末竣工するの



でさらに新校舎一階建を二階に増築したい。旧校舎を取壊し校庭を整備すれば一応完了となり教育環境も一段と向上し、その実績も大いに期待できる。旧校舎の危険点数が基準に達しないので補助などの関係で確実な施行見とおしが立たないが努力したい。

御宿小学校も老朽化が目立ってきており、その改築が迫られているが総合計画を考え、関係機関等の意見を充分聞いた上、本年中に教育委員会の協議結論を得られるよう努めたい。

長い間ご不便をかけていた、じん介処理については只今火葬場際に建設中であり、四月から操業の計画ですから皆さんのご協力を頂いて町をきれいにし、観光御宿の面目を一新したい。

幹線道路の整備

長期計画を考え併せ道路網の整備は急がれますが財政のゆるす限り、砂利道を舗装道路に改良するようにしたい。本年は観光地帯の道路、側溝整備に力を注ぐと共に幹線道路の整備を続行したい。

写真Ⅱ進む体育館建設工事

昭和四十年の年を迎え親愛なる町民のみなさんにつつしんでお祝いを申し上げます。

私等は何回となく、新しい年を迎えたのでありますが、年の初めにはやはり、みずから勇

気が湧いてまいります。しかしわれわれ町当局は、不敏を顧りみず、町政に

たづさわつて参りましたが、遅々として進歩しないことを、反省しております。しかるに町の皆様には、心の光明となる絶えざる御指導、御協力を賜わり、まことにあり

町づくりの専念

町長 井上文吉



がたく感謝感激いたします。

さて、国内では、物価問題の解決と、長期の経済安定が、農業や中小企業の近代化とともに強く、要望されております。また

思えば、仲々容易なことではございません。御承知の通り我等の郷土も、こうしたいとか、こうありたいとか、要望が次から次へと湧いてきて、ただ漫然としたその日暮しはゆるされません。

私達も皆様と同様な感情をもつわけですが、町政を預かるものの立場から、日頃の抱負を広報に示しました

年頭のごあいさつ

たこれと同時に、青少年の徳性教育、いろいろな社会環境の整備、そして社会保障の充実などいわゆる社会開発がますます必要となつてまいりましたことを

ので、皆様のお知恵をいただいで、御協力を願ひ、良い町を一步一歩つくることに専念します。みなさまの御多幸をお祈りして、御挨拶いたします。

総合計画完成

に努力



議長 長井清治

昭和四十年の新春を迎え町民の皆様と共に心から新年のお喜びを分かちあいたいと思ひます。年が改るたびに人の心も新しくまた希望もわいてくるのであります。我が町は町民各位のたゆまなき御協力と町当局の努力により常に前進しておりますことは誠に喜びに堪えません。昨年九月、町は総合開発計画を樹立し、県の指導と町内各機関の

協力のもとに将来への未来図を立案中ですが、この計画が明日への飛躍の基礎となりますので期待は誠に大きいのであります。私はここに新しい年を迎えるにあたり、明かるく住みよい豊かな町づくりの総合計画が一日でも早く完成するように努力するつもりです。

無断遅刻に罰金

消防団で時間を守る運動

にしている。こんなことではいけない、と

自衛隊員を募集中です
ただいま、自衛隊では、隊員を募集しております。明るく、楽しい訓練と将来が保障されて

いる職場です。
入隊御希望の方、または詳細を、知りたい方は、役場総務課まで、御気軽に、お申込み下さい。

町消防団では、時間に対する觀念の養成と、会議出席などをスムーズにするため、次のような申し合せ事項を決定し、実行することになった。

(一) 会議等の招集を受けた者は定刻迄に必ず出席すること。定めた会議時間迄に到着出来ない者は団長または代理人に何らかの方法で遅延時間または不参の理由を必ず報告すること。
これに違反した者、または団体は次の罰則を適用する。
なお罰金は本部で徴収し消防団員の教養訓練費にあてる。

罰則表

種別	遅延時間	罰金	備考
個人	一〇分以内	一〇円	一〇分またはその端数を増すごとに一〇円加算
団体	〃	一〇〇円	

二十才になつて

今年成人となつた人に「二十才の考え」を聞いてみました。

成人式を迎えて

内山晴一朗



現代の若者に対して悲観的な見方をする大人達は多い。なる程、ツイストやサーフィンを踊り、フウテンバッグを担ぎ、ロングスカートをはき、みゆき通りを闊歩しているような若者達をみてそう思うのも無理はない。しかし、それは大人達が、現代若者のイメージとして捕えた直観的な見方にすぎない。彼

等達にも、彼等なりの考え方、言い分がある。それは、現在の社会に対する、ささやかな抵抗であり、反撥の現われである。

欲求不満、何か現在の社会に満ち足りないものを感じ、彼等は彼等なりに、その青春のエネルギーのはげ口を求めているのだ。それとは異なるが、全学連にしても同様のことが言えると思う。

学生 の概念の中にある理想の社会と現在の社会を比較してみ、矛盾だらけの現代の社会に気づき、その改革と言つては大げさかも知れないが、とにかく非力ではあるが何とか社会の改

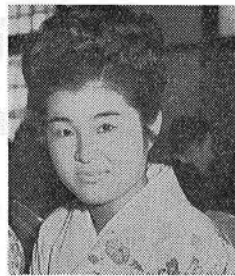
善を試みようとして行動を起す。こういう若者を見て、真向うから非難、罵倒の声を浴びせる大人達も多い。

毎朝、毎夕の新聞紙上やラジオ、テレビのニュースなどを賑ぎわせる事件や犯罪も青少年によつて行われたものが非常に多い。そして「近頃の若い者はだめだ。こういう若者達がつくる将来の社会というものは、一体どうなるだろう。考えただけでも恐ろしいことだ。」と嘆く。しかし青少年の犯罪者はばかり責めないで、そういう犯罪者をつくりだした社会は一体どうなのか？嘆く前に一考の余地があるのではあるまいか。戦後の急激な経済発展に伴い生じてきた受験戦争、青少年に悪い影響を及ぼすような映画、雑誌、その他の娯楽施設の激増も青少年の犯

罪及び不良化に大きな関連を持つている。明らかに青少年によくない影響を及ぼすことと解つていながら、あえて彼等を対象にして私利を肥やし、社会全体、公共のためを考えることの出来ない大人こそ嘆かわしいこ

生活に変化を

松本富枝



とである。そこで今日、成人式を迎え、大人の世界へ仲間入りした次代を担うべき我々、大きな希望と期待をもつて前進しようではないか！

(新町一橋大学 社会学部二年)

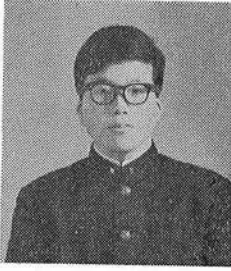
日本中を五輪ムードにわき上がらせたオリンピックも幕を閉じて、世の中にやつと落ち着きが戻り、新しい年とともに私は今年成人の日を迎えました。うれしいと思いが、まだ心のどこかすみっこに不安な気持ちが残つているような感じですが、なにも背のびをしてまでも、大人の仲間入りはしたくはありませんが、今までは多少の知識不足なこともある程度許されてきたが、大人になった以上は何事に

も、自信を持たなければならぬと思うからです。二十才になつて、私はあれもしたい、これもやりたいと、すぐ欲ばかりかもしれませんが、何でも知りたいたいと思うのです。今までに、考えるだけで実行にうつすことはなかなかむずかしい事で、思いついた時に思い切つてしなければ、結局何も得られなくなつてしまふという事をつくづく感じました。今年こそは素晴らしい出来事が待っていそうな、そんな気がして、日頃は易など見向きもしない私でも、心の中では当るも八卦当らぬも八卦と思いが、今年の運勢は？と自分自身に大きな希望と期待をかけたくなるのです。

終戦つ子の私達には戦争の恐ろしさもわからないままに二十才を過ぎて来ました。そして、今年大きな喜びとして選挙権が与えられました。選挙についてあまり認識のない私は、もっと社会を広く見つめて、世界の政治経済にも興味をいだき、これからの人間として、自分をきたえなければならぬと考えます。身近かな事にしても、自分としては、何をなすべきかを、よく考えて、思った事はどんどんやり、本当の自分のものとして、一つ一つ身につけてゆきたいと思えます。

一人一人の力こそ大事

河崎 征俊



今日、私達は成人式を迎えました。同時に私達は過去の安楽逸楽的なる行動との断絶的岐路に立たされたわけです。戦争と

学生時代とは違って一步社会に出ると色々な面で自分を見る事ができます。そして私達年代の数多い悩み(仕事、対人関係、恋愛、その他)をいかにして解決していくかが、青春をどう過すべきに通ずると思えます。自分に忠実であるという範囲で変化のある生活を見つけて行きたいものです。悩むという精神的な刺激をそのままにせず、新鮮に力強く受止め、もっと他の広い視野をもって、これからの青春を謳歌したいと思えます。(六軒町―東京都商工信用金庫勤務)

いう苦い事も直接経験せず、両親の温かい愛情によってのみ成長して来た私達にとって、今日という日を境にして大人になったという事を認識することは幾分なりとも感いを感じずにはおられません。それほどに私達の二十年間は短かいものだったのかも知れません。しかしここに大人としての権利、義務を手

にした以上は、そのような甘い考えに耽溺固執しては冷たい現実の風に吹きとばされてしまいます。私は学生の身の上です。社会のこまかい組織には直接、接してはおりません。そのため机上の論証だけになってしまふと思えますが、私なりの見解をのべます。

私達は周囲に対してそれ相当の知識を持たなければならぬと思います。何事も知らないという事は、自分に対する害悪であると同時に他人に対して害悪となることだと思えます。大人の仲間入りをし権利、義務を

用意された私達はここで考えてみる必然性があるのだと思えます。相手のことを無視してただ自己主張論に走っては社会という大きな秩序は破壊されてしまふ、その機能も不活発なものとなってしまふと思えます。広い視野で社会を知り、他人の多様性を高壇に立った思いで認めるということから出発しお互いの意見の秩序ある態度をもって各々の言葉を述べ合うところにその社会の、また、町の明るい建設がなされるのだと思えます。政治が人々を導くものであると、信じてしまつて一人一人が

自分の存在価値を放棄してしまつては、社会は形成されないと思えます。私たち一人一人の力が、大きな集団への根力を築きあげるのだと思えます。そこに各個人の責任と正義と努力が必要となつてくるのであり、又それを遂行せねばならぬという社会的義務が生じてくるのだと思えます。鉄は熱いうちにたたけ"ということわざがあやう

いくかということが、私達成人を迎えた者への大きな課題であると思えます。今までは大船にのって航行していた私達ですが今日からは小さい自分という船で航行しなければなりません。そうなるとその船にのつている者の考えあるいは、梶のとり方によつてその人の生命が左右されるわけです。

私達は広い大きな社会の一員となつた以上、無責任なことではできません。梶のとり方や考えによつて自分が生きもすればまた墮落もするのだと思えます。行動には常に責任というものがつきまわっております。正しく航行の梶をとつて、つまり正義と責任と努力をもつてしてはじめて前述したことが可能

ではないでしょうか。またそういうことを遂行することにより正しい意見が集まりひいては建設の明るい響きを聞くことができるのではないのでしょうか。(実谷―駒沢大学経済学部二年)

私のみた政治と選挙

三 矢 豊 彦

20才ノと同時に与えられた選

挙権は将来の日本を築く、使命

のように思われる。私は、今までに幾度となく行なわれた、選挙について、感じたことを、二、三述べて見たいと思う。

「公明選挙」と選挙の行なわれるたびに騒がれて、何年になるだろうか。戸別訪問やポスターの枚数制限等、きびしい取締りにもかかわらず、選挙後は多くの違反者を出すのはなぜか。そして低い投票率は、何を指すのだろうか。政治に対して、無関心すぎるのではないだろうか。それとも「くれる物は貰つて置け」「自分一人位入れなくとも誰か入れるだろう」「投票すれば良い、選べばそれで良い」そんな、安易な考え方がるのではないだろうか。

私は、保守系でも革新系でも本人の自由だと思ふ。問題は、選ばれた人達が、公約だけでなく、本当に我々の生活が良く成る様に考え、努力してくれているのだろうか、四年間見守るべきではないだろうか。そして我々の考え方もつと強く、政治に反映させるべきではないだろうかと思う。近頃は、「前向き姿勢で、積極的に行う」と言う、言葉が良く使われるが、私は今までの政治を「後向き



消極的政治」だったと、感じられずにはいられなかつた。例えば、災害融資法にしても、早く行うべきではないだろうか。北海道の冷害に対して、昨年十一月に災害融資法が適用されたが、

今年の二月に実施する方針とまいったとか、聞いてあきれた話である。その間は、各地の寄付、救援にたよらねばならない始末である。社会保障、福祉施設の充実等、政治的解決を待つものは数多くあるはずである。誰かの言った「アジアの先進国」「日本は大国」と言うなら、国連の場に於いては米国の肩持ちばかりでなく日本独自の案を、出すべきではないだろうか、私は思う。領土問題にしても、沖繩問題は特に早期解決をしてほしいと思う。国際情勢の激動の中にあつて、常に日本が正しく、世界の各国とともに歩むには、何として立派な政治家が、要求されるのではないか。しか

し、私の受ける感じは、余りない様である。歳費値上げ案は、超党派をもって諸手を上げ賛成し、短時間の内に可決する早業、そして歳費は、無税という法律まで作ってしまうのである。年収百万円以下の、一般勤労者への高い税金を改め、無税にするという話は、いつの間に消えてしまうのである。もつと一般民衆の声を聞くべきではないだろうかと思う。

諸物価の高騰、住宅地問題、多くの倒産を出している中小企

二十才の願い

斉藤澄子



就職してから一年と五ヶ月。

その間に私はいろいろなことを学んだつもりですが、人間的にはあまり進歩していないように思ふ。

私の直面した「大人の世界」

業問題、前記の福祉対策等国内に於いては数多くの、重要問題があるはずである。革新系も、反対するばかりでなく、なぜ反対するのか、理由をはっきりと明らかにすべきではないだろうか。最近、青年層が、保守系に強く傾向するのも、その辺にあるのではないだろうか。外交問題も重要だが、それ以上に国内問題は、熱意をもつて解決し、我々、国民のために、「納得のいく政治」をして、ほしいと思ふ。(須賀一商業)

ふれた言葉です。たとえ、その結果が悪くとも自分では良かれと思つてした事ならば不満はありません。

「生きる」ということの難しさ、苦しさ、それにも増してまだどんなにか楽しいものよ!! 東京での自活で私はその苦しさ、楽しさを初めて体験しました。「自活出来る」ということが、誇らしくも思えるのです。花でさえ、しつかり自分の領分を守つて、自分の出来る限りの力で立派に花を咲かせています。このように何事も自分の力で精一杯の努力を私はするつもりです。

私達の道は長く、そして幾つかの厚い壁にぶつかると思ふます。でも希望があるから、壁にぶつかるのです。そこから逃げたりはしません。自分の力で、そして、この手で、何事も自分の最大限の力で未知の物と戦ふことの素晴らしさ!!

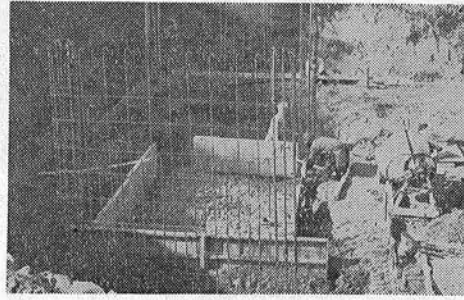
私達若者の特権なのです。きっとその壁の向うには幸福の青い鳥が私達を待っていてくれるでしょう。

ほらすぐそこに!

(岩和田一シンガー・ミシン 東京本社勤務)

ゴミ焼却場の建設で

清潔な町づくりへ第一歩



写真Ⅱ 工事中の焼却場

健康で明るい郷土をつくるには環境衛生の向上は欠かせない条件であり、生活水準の向上と相まって汚物収集対策の整備が急がれております。

当町においても、一部市街地（須賀、浜、久保、新町区）について清掃法に基づく特別清掃地域の指定を受けました。

この指定を受けますと、その区域内の土地、建物の管理者はその土地、建物内のゴミについ

て焼却、埋没等衛生的に自分で処理するほか、自家処理不能のゴミについては町で行う収集事業に協力していただくこととなります。またみだりにゴミを捨てますと罰せられます。その他鶏や牛馬、豚などの家畜の飼育にも一定の衛生的設備が必要となります。このように今まで衛生上の理由から御協力いただいていた事項が法律の上で規定され、生活環境の清潔化が一段と強化されることとなりました。

これにともない町でもゴミ焼却場を火葬場の隣りに建設、昭和四〇年度より自動車により町内（主として市街地）を巡回、ゴミの収集、焼却を行い、積極的に清潔で住みよい町づくりに努力いたしますので、本年四月より開始予定のゴミ収集事業には、町民の皆様御協力をお願いいたします。なお、し尿の汲取事業については昭和四一年度開始を目標に勝浦市を除く郡内五町が協同でし尿処理場の建設に着手することになりました。

進む農家の

機械化と文化生活

昭和三十九年二月一日

機械化と農業

現在で実施された、千葉県農業基本調査（調査対象は耕地一反以上を耕作している農家）の結果がこのほど発表になった。本町農家におけるおもな決果は次の通りです。

農家の人手

一〜三反の階層において減っているのは耕作放棄による現象と思われ、三反〜一町の階層において増えているのは安易な現金収入を求めて農家の経営主や後継者が他産業に、日雇いに出ているためと思われる。

耕転機については純農村地区において一、七戸に対して一台の割合に普及しており、電動機乾燥機の増加率が著しい。農家の文化生活

テレビの普及率は三九年度においては全農家数の八六%を示し、殆んど農家に普及している。洗濯機、冷蔵庫は兼業農家がほとんどを占めている。

家計簿を記帳している農家は全体の二二%で前年と比べ僅か二%の増となっている。

農機具所有台数

種別	台数	
	昭和38年度	昭和39年度
動力耕耘機	192	218
発動機	261	284
電動機	138	188
籾摺機	121	122
動力脱穀機	355	358
動力乾燥機	65	110

農家の文化生活

種類	台数	
	昭和38年度	昭和39年度
テレビ	545	599
電気洗濯機	125	201
電気掃除機	15	28
電気冷蔵庫	55	144
電気釜	—	101
ガスコンロ	309	413
ミシン	—	381
オートバイ	157	217
家計簿の記載	144	158

《農家が一年間に雇入れた延人員》

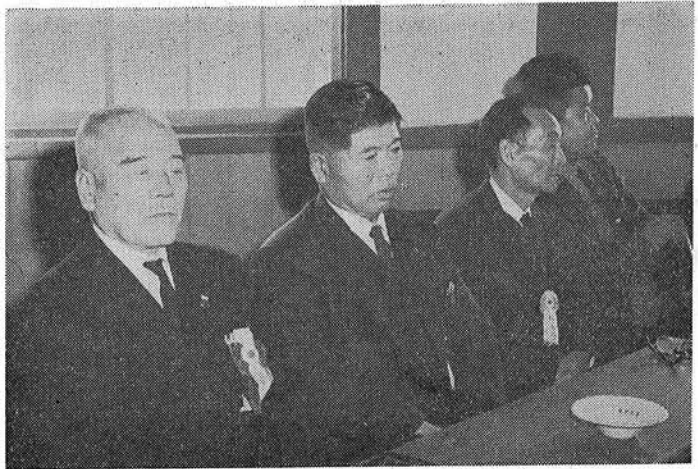
階層別	昭和38年度		昭和39年度	
	農家数	延人員	農家数	延人員
総数	341	7,038	347	7,395
1反〜3反	112	1,703	97	1,330
3反〜5反	63	1,196	70	1,537
5反〜7反	45	1,091	51	1,235
7反〜1町	56	1,402	57	1,864
1町〜1.5町	54	1,251	47	1,211
1.5町〜2町	11	395	25	218



訪問着に身をつつんだ、彼女たちの顔は、ほんとうに晴れやかだつた。

カメラ
ニュース

成人式



りつばに成人した若人を感じ深くみつめる左から井上町長、新井議長、片岡教育長、岩井助役

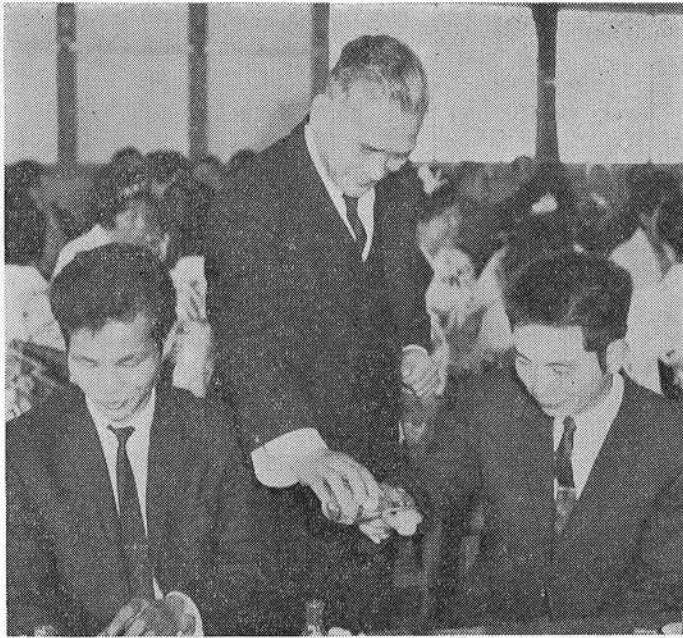


私達も、もう一度若くなりしたい、とお世話するおばさん達はうらやましそ。

新井町長
片岡教育長
岩井助役



成人としての自覚が、その顔に
みなきつている。



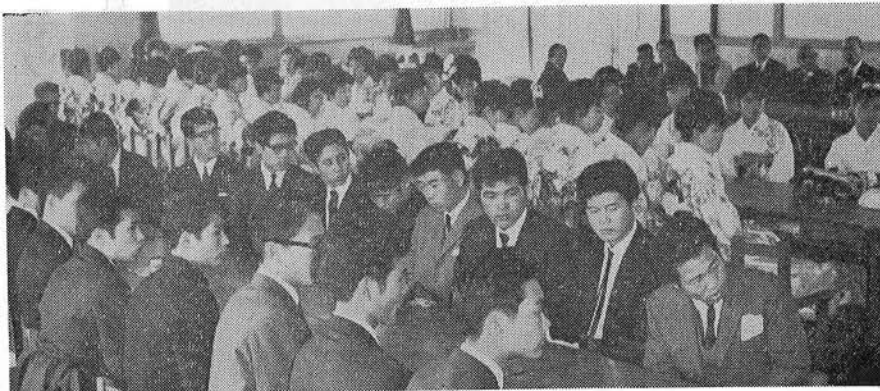
はじめて口にする酒を、関公民館長より受ける。

終戦つ子はばたく

『成人の日』の十五日、町と公民館主催による『成人を祝う会』が御宿小学校講堂に於て開かれた。

ことし成人になる人たちは、全国で一八八万人、本町では、一四八人(男六八人、女六〇人)

この日出席した人は七十七人で男は背広、女性のほとんどが訪問着姿で、会場には若い熱気があふれていた。



会場に集った成人たち。

一九六五年

私の「抱負」と「夢」

■外房一の観光地に■

観光協会会長 金井 英一



御宿を外房第一の観光地にす
る。
その目的に向つて邁進するの
みです。

■スポーツで人づくり■

体育協会会長 大地 薫



東京オリンピック大会の大き
な成果は一九六五年の私の初夢
を希望でふくらませてくれた。
町の体協も新発足後十周年を
迎え、近く体育館も落成し、さ
らにそれにふさわしいプールの
建設計画も云々されている時、

新進気鋭の役員諸君による野
球、陸上、剣道、卓球、庭球等
各部の飛躍的活動に大きな期待
がかかつております。このさい
これらの専門的活動とは別に私
の年来の腹案でありました次の
二項を提案し、広く町民皆様の
御協力を得たいと思います。

その一つは中学校高校一般の
混成チームによる区対抗町内駅
伝です。本年は町村合併十周年
記念事業の一つとして行ない今
後毎年一月頃実施する。

その二は老若男女親しめる言
わば町技として、男はソフトボ
ール、女はバレーボールを普及
することです。鳩首不良化対策
を論議するより海辺に農家の庭
先に町の空地に響くボールの音
は心身の健康に、青少年の健全
育成に、また明るい町の人造り
に大きな成果があり、広いスポ
ーツ人口の上にこそ立派な多く
の選手が育つことでしょう。

■人の和をモットーに■

婦人会長 君塚 よし



新春のお喜びを申しあげま
す。年頭にあたり、今年の抱負
など述べてみたいと存じますが
御承知の通り婦人会役員の任期
は二年制で、きたる三月末日、
私も役員は任期満了ですの
で、充分な答は出来ませんが、私
達就任以来「人の和」という事

■バランスある飛躍■

商工会青年部長 松本光一 郎



あげましておめでとうござい
ます。今年日本人にとつては
忘れられない、あの大戦を経て
から丁度二十年、数字の上でも
きまりのよい年です。この間に
我れ我れは種々な事を学び経験
しながら今日の日本を築き上げ

をモットーとして、会の運営に
あたつてまいりました。そして
三十八年度は、変りゆく社会に
対し、消費生活、子女の養育、
主婦としてのありかたなどをテ
ーマとして、指導者教育に当り
三十九年度はこれを各支部へお
ろして、支部活動重点の方針で
すごしてまいりました。あと
二、三ヶ月の日時しか残つてお
りませんが、支部の動きに遺憾
のないように、会員の皆様にお
勤めいただき、役員一同努力す
ることを心に願う次第でござい
ます。

ました。その発展の原因は勤勉とか不屈な根性とか幾つかあげられるでしょうが、特に私はこの誌上をかりて今年は「協調」という事を強調したい。凡そ人間として生をこの世に受けたからには決して一人では生きられない事は今更私が喋々する迄もないと思います。最近の世界情勢を見ても何処か一國が身勝手な事をすればそれが直ちに人類の破滅を導く可能性もあり得る

■園児に良い環境を■

保 母 武 井 頼 子



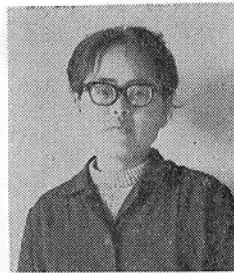
皆様、明けましてお目出度うございます。今年もよろしくお願い致します。

諺に「三つ子の魂百までも」という言葉があります。樹木や竹に、年輪を刻む節があるように、人間が成長する段階には、三つの節があるといわれています。

からである。抜けがけの功名とか、自己一人の独断は現在の社会では許されない。かような意味合いにおいても今年度は全体のバランスを考えながら一人一人の適性に応じた飛躍と、そのバランスのとれた成長がひいては自己の企業の発展につながり更に地域社会の福利増進に幾分なりとも貢献するならば幸いです。

■すべて自らの力で■

保 母 君 塚 総 子



顔をもって園児に接し、個々の特性を充分に生かしながら、明朗、快活な素地を築かしむるよう、優しく律して行く覚悟でおります。

父兄の皆様を初め、諸先輩方の御声援を切にお願い致します。

保母としての自覚をより一層強く持ち、常に前向きな姿勢で日日を過し、くいのないよう努力するつもりです。



五六年このかた元旦の私自身の行事の一つとなっていた町の名刺交換祝賀会は今年欠席することになってしまった。

毎年決まったような、そして一寸物足りない気のするこの会も、町長の朗々とした祝辞だけは元旦らしく明るい気分になれるし、時間きっかりの正確な開会も立派なはじめである。

元旦といえども職業柄町を抜け出ることはめったに出来ない立場ではあるが、ひよっとしたらという機嫌をたのんで、予約して置いた皇居前のホテルに向

うべく、正后過ぎの準急に屠蘇気分で乗り込んでしまった。

車中よりのいつも眺めている外房の明かるい景色も、新春の静かで平和なたずまいに、ぼんやりとけ込めるのも正月の楽しさである。ホテルの七階よりは、皇太子御成婚記念の大噴水とやらが、小さきままの水柱を何本も噴き上げている景観は皇居の古びて磨きのかゝった美しさと、反対側の近代ビル群のあいだにあって、自然な調和をかもし出していた。真下のお堀に二羽の白鳥も陸じく動いている。晴着を着飾つた若い娘さん達に混って、何組かの外人が、この異国の美しい景色に、静かに見とれていた。やはり元旦であり静かで楽しい。ふと思いついて十数年振りに明治神宮に参拝すべく、ホテル前より車をひろつた。ここは又美しい娘達の晴着の行列が何十万という人混みの中に咲き乱れている。この混雑の中に昭和四十年の初頭を想い、自分の五十代の出発を再認識して、何かこの十年間を生甲斐あらしめたい決心みたいなものが湧いて来るのも元旦の故か。一ヶ月。一ケ年。十年間。時間の流れに切れめをつけたの

は、人間のすばらしい知恵だった。正月は楽しい。何となく幸いどこからか来そうな気もする。その楽しさは結局自ら作る以外にないものだ。昭和四

■ 初夢

十年代の初頭に当り、そんな事を考えつゝ、初詣の人混みの中で、御宿の明るい発展を夢みていた。

民生委員 小池 健
協議会総務



「おんじゆく、おんじゆく。」

ブラットホームにおりると、磯の香がふんと鼻をつく。青い海が、そして点々と浮ぶ漁舟が視界にとびこんでくる。駅前からずつと、岩和田につづく觀光道路。道の両側にはくれないのカンナの花が今を盛りと咲いている。町の青少年相談員をリーダーとする『花いっぱい運動』の一コマとか。アスファルトの道をカンナの花にさそわれるように歩いていくと、

「わあー」。という子供らの声、川辺の埋立てた広場で精

婦人学級の折の作品とか。廊下に立つと目の前に広がる海の青さが目にしみる。左手の建物は南国のムードたゞよう熱帯植物園、バナナの房が重くたれさがっている。ひょうひょうたる松風に、そして快い潮風にすくすく伸びていく子供達。長い人生

■ 一灯を点ずる信念で

青少年相談員 井上 浩一
連絡協議会長



宝舟をかいて枕の下にそっと入れておくと良い初夢が見られるというので、私もやって見た。夢は希望であり初夢はまさに理想像である。

政府が「国づくりの要諦はまづ人づくりより。」との一線を打ち出して、にわかには青少年行政が活潑に動き出したことは誠に悦しい限りです。次代になう青少年の健全育成の尖兵として、青少年相談員が誕生致

を働き抜いて今ゆつくりと思ひ出話に昔を忍び、時には研修の場を設けて新知識の吸収につとめている老人達の顔には幸せがいっぱい。私は網代湾にむかって力いっぱい叫んだ。「教育の町御宿。」「福祉の町御宿。」と。

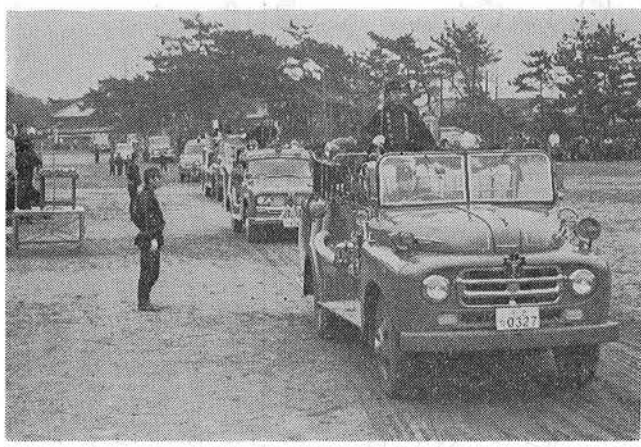
があるのでありましょう。由来なまかな文化が燦然して、人間に燃えるような希望と理想と、これに伴う奮斗努力とが消滅して、低級な享楽と卑怯な苟安とをむさぼって四の五のいうようになってしまふともう助からない。我が世を永久に望月の円けきものと思いがれる公卿輩も、泰平三百年の夢に酔いてし徳川も、かくして亡んで行ったのである。

吉宗も嘆じ定信も焦ったが如何とも出来ない。かかる時国家の新生命を発揮したものは、必ず頽廢文化の中毒を受けずに純潔な生活と確固たる信念とを持った質実剛健な青年武士であったのである。

これが年頭初夢に見た治乱興亡の鉄則の一片であったのであります。相談員各位においてもそれぞれの地域々にありて、自ら一灯を点じ一隅を照らす信念を持って地域社会の良き相談相手として信頼され、一層その任に向って邁進されんことを切望致します。

戦後二十年荒涼惨たる敗戦のどん底から今日の我國の目ざましい発展振りには世界も驚異の眼をもって見ているといわれますがその反面、毎日のように社会面を黒くいろどる事件もまた非常に多いのであります。ここに為政者の苦しみがあり、使命

式初に出に盛大



妙音寺に石燈籠

御宿町消防団恒例の出初式が一月七日来賓、町の役職員約一五〇名を招いて御宿小学校校庭に於て行なわれた。

天保十二年、徳川十一代將軍家濟公(文恭院)が上野寛永寺に奉納した高さ四メートル余の石燈籠と手洗石が、妙音寺(浜)の庭に建てられた。

これは、妙音寺本堂改築並びに住職大僧正昇級を記念して、上野東叡山寛永寺執事長、大僧正杉谷義周師より寄贈されたもの(写真はその石燈籠)



御宿町消防団恒例の出初式が一月七日来賓、町の役職員約一五〇名を招いて御宿小学校校庭に於て行なわれた。

式は力強い中村団長のあいさつにつづき、三五〇名の団員がポンプ操法をはじめとする、日頃の訓練を披露すると共に、優秀団員の表彰と、長年消防団に勤務し、退職した団員に消防庁長官より銀杯が贈られ、受賞者を代表して白井本部部长の答辞があつて式を終了した。

このあと第二分団(新町)による模範放水と、全分団一せいで放水を行い、御宿町消防団の威力を発揮し、町民の信頼に応えた。

なお御宿町消防団の現有勢力は次の通りとなっている。

- 自動四輪ポンプ 八台
- 自動三輪ポンプ 一台
- 手引動力ポンプ 二台
- 可搬動力ポンプ 二台

写真IIバレードする機動部隊

表彰を受けた人たち

千葉県知事功労章	白井 福松	畑中 常雄	吉野 正
同 精勳章	本吉 利男	吉野 利雄	新井 昇
	石井 惣次	吉野 信	酒井 文雄
	松本 和之	吉野 精一	
▽消防庁長官より銀杯を贈られた人達			
夷隅支庁長章	渡辺 嘉重	元御宿町消防団	
君塚一二三	吉野 茂雄	分団長	流口 福男
西川 晴夫	井上 巖		松本 政治
千葉県消防協会長功労章			星野 美喜夫
鶴岡 秀雄			吉野 義雄
同 精勳章			白鳥 稲城
松本 孝祐	吉田 好武		石井 博
井上 泰爾	神定 一司		石井 俊
夷隅郡支部長功労章			峯岸 長
市東 光郎	山口 包治		滝口 正夫
同 精勳章			滝野 秀雄
吉野 好	鈴木 信一		井上 進
江沢 和男	浅野 勝		滝口 咲男
御宿町長功労章			三上 幸雄
石井 正男	山口 久雄		島津 清一
堀口 安弘	君塚 邦男		君塚 静夫
黒田 満	鈴木 正巳		井上 勲
吉田 要	君塚 静夫		井上 善
新井 功	関野 仲雄		神定 善
吉野 睦雄	鶴岡 清		高橋 善
御宿町消防団長精勳章			高橋 善
白鳥 広	村田 東吉		高橋 善
川島 儀一	三矢 信義		高橋 善
熊井 郁夫	島田 梅雄		高橋 善

表彰を受けた人たち

石井さんら入賞

農産物共進会(小幡)開く

小幡青年団主催の「小幡部落農産物共進会」が一月二日小幡生活改善センターに於て行われた。これは農産物の振興をはかる目的で四十年来行なわれているもので、農業振興に大きな役割を果たしている。

本年度出品されたものと、入賞者は次の通りです。

- 出品点数 百四十四点
- 野菜、雑穀、卵 四十二点
柑橘 十一點
坪刈 四十五点
玄米 四十六点
- ▼入賞者▲
御宿町特別賞 玄米 石井敏雄
同 白菜 井上操
御宿農協特別賞

社会福祉に大きな役割

国民年金

「すべての国民に年金を」という国民皆年金の一翼をなつて昭和34年に国民年金が発足してか

ら五ヶ年を経過し、多くの人がこの年金の恩恵を受けようになつた。

御宿町でも昨年(昭和三十九

- 御宿農産物共進会特別賞
花やさい 吉野 靖
玄米 石井 直行
玄米 石井 美喜
坪刈 石井 暁
- 農業委員会特別賞
坪刈 吉野 博夫
- 農業改良普及所特別賞
蜜柑 吉野 和美
玄米 石井 和夫
一等賞 吉野 博夫
- 御宿町特別賞
坪刈 石井 敏雄
蜜柑 吉野 良平
花やさい 石井 俊雄
井上操



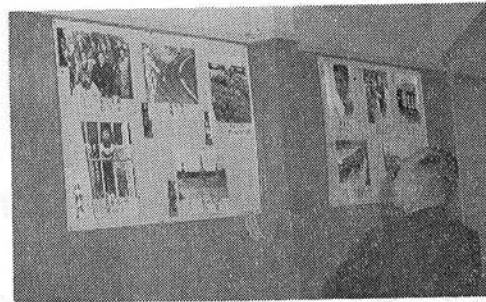
北の国で観光宣伝

千葉県観光と物産展が一月十一日から十五日まで、福島市中合デパートで開かれた。

これは千葉県の観光と物産を福島の人達に広く紹介するために開かれたもので本町も参加し、写真、パン

フレット、ポスターなどにより観光おんじゆくの宣伝を行った。

写真、観光案内所につめかけた人達。会場には海女の人形がかざられ、おんじゆくのパネルフレットはみるみる少なくなつた



全日写連・御宿支部写真展開く

全日本写真連盟御宿支部(支部長金井英一)の年間賞を決める、写真展が、一月十五日から十七日までの三日間夷隅高校御宿校舎で開かれた。

出品作品は約百点、審査の結果、次の通り入選が決り、全日写連と朝日新聞社から、楯やメ

年)一年間に次の人達がそれぞれの年金を受けています。

▽福祉年金 四三九人、五三九万円。

▽障害年金 四七人九七万円。

▽母子年金 三七人五六万円。

このような訳ですので、現在では町の社会福祉を増進するうえでも、国民年金は非常に重要な役割を果たしており、ようやく軌道に乗ってきた、といえる訳です。

金井君 国体へ

第十四回全国高等学校スキー大会の予選をかねた、東京都高校スキー選手権大会が、一月三日から六日まで長野県志賀高原スキー場で行なわれた。

この大会に出場した、金井剛夫(岩和田一早稲田高等学校一年)君は出場選手一四九名をおさえてみごと優勝し、国体及び全国高校スキー大会に東京都代表選手として出場することになった。

なお金井英一さんも、千葉県選手団総監督として国体(二月中旬兵庫県神鍋スキー場)に参加する。

ダルが贈られた。

▽推薦 東栄蔵

▽特選 金井英一

▽準特選 宇田川栄一

岩崎栄一郎 萩原清二郎

写真

作品



吾子嫁きしあとはさみしや残り菊
婚近し障子張る手も忙しうて

山口 つる

元且の雨にこもりてテレビみる
北風に足早となり買物に
暖冬の鰯干場に鳶の群

吉野 鶴女

しかしが大寒の寒といふべけれ
うらぶれてめしひの猫も恋とげぬ

岩瀬甘露子

窓いつばい明けて初日を招じけり
病よし咲きはじめたる 冬葺ふゆか
冬物半値ビラはた〜と二月昼

土井 久恵

庭石に冬陽が戻りばらも又
魚臭き町に冬日のあまねくて
冬ざれや火葬場黙然と山を負う

岩瀬 京子

大焚火部落総出の輪となりて
足跡は帰りし名残り霜柱
寒風に憩の土手を更へにけり

佐久間 基



「夜の勉強」

松本美紀子

時計の カチカチという音が
何かの大きな物音のように

急に遠くで犬の音がきこえた
その音が なぜかおそろしい

わたしの耳に入る

北風がヒューとふいて来た

ひっそりと みんな寝静まつた

その音に 思わず

静かな夜

鉛筆を走らせる手を止めた

わたしの走らせる鉛筆の音が

(御宿小六年)

時計の合間に 合間にきこえた

おにごっこでもしているように

の人口 (12月末)
御宿町

前月より (+増-減)	
男	4,109人 (+14)
女	4,874人 (-1)
計	8,953人 (+13)
世帯数	2,055



☆今年の町政はどのように動くか、そして何を重点とした施策が行なわれて行くか、町政、今年の動きにその方針がのべられています。

☆戦後二十年、終戦の年に生れた人たちは、今年二十才となり成人となった。

この若人たちはどのような

わが家の標式
わかってる、よっぽらい
運転はぜったいしないよ。

寒い時期の安全運転

とを考えているか、二十才の意見を聞いてみました。一線で活躍している人達から寄せられた「今年の抱負」と共に御一読ください。

☆記事の関係で、本号は十六ページとなりましたが、町民の皆さんから御意見をお寄せいただく「みんなの声」欄に投書がなかつたのが残念です。町政、その他なんでも結構です。皆さんの建設的な声をぜひこの誌上を通じて発表してください。

編集者 東井 文吉 発行所 千葉県夷隅郡御宿町役場